

FUJIEDA ROTARY CLUB

Weekly Bulletin

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL：054-641-3321  
事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL：054-647-2300 FAX：054-647-2040  
E-mail：club1972@fujieda-rotary.org

会長：青島 克郎 副会長：松葉 隆夫 幹事：仲田 廣志 副幹事：増田 國衛

第1783回

<ソング> われらの生業  
<ソングリーダー> 鈴木廣利君



2008-2009年度 RIテーマ

夢をかたちに  
李 東建



彼岸花

写真提供：鈴木 舜光君

会長報告 青島 克郎君

6日の月曜日に静岡産業大学の川口順功学部長と冠講座担当の田口敏行教授がクラブの事務局にお越しになり、前回のお礼と次回4月からスタートする講座の依頼のご挨拶がありました。

地元の経営者の皆さんの実践的な生々しい講義をしていただくと他の講座との違いが出て学生が興味を持つのではとの事でした。またロータリークラブに対しての学生達の興味も大分あるようです。初回の4月21日はガバナーのロータリーについての講義をお願いしてありが了解も頂いております。当日は例会変更で行うことになると思います。講師の選任は酒向委員長をお願いしておりますので皆様の積極的なご協力をお願いいたします。

先週の土曜日と今週日曜日の2日間で藤枝南クラブツーリング同好会主催の長野県美ヶ原への1泊ツーリングに当クラブから石垣夫妻と私の3人が参加いたしました。子供2人を含め総勢17名、オートバイ4台、スポーツカー5台、乗用車2台が日曜日の朝8時半に東名日本坂サービスエリアに集合、一路美ヶ原を目指しました。

周りがすっかり紅葉した八島ヶ原湿原を散策したりした後で宿泊先的美ヶ原の頂上に建つ王ヶ頭ホテルに到着しました。

このホテルは国定公園の環境保護地域にありマイカーの乗り入れは出来ません。3~4Km離れた土産物店に車を置きホテルのバスで放牧場を眺めながらトコトコと昇ってゆきます。

夕食の後、天体観測に出かけました。バスで5

分程度の周りに明かりのない場所へ移動し真っ暗な中、空を見上げて驚きました。くっきりとした天の川を始め無数の星が今にも地上に降り注ぐかのように空一面に広がっていました。標高2000メートル、澄んだ空気のなせる技、本当に感動いたしました。

2日目は午後になって少し雨に降られましたが事故もなく無事帰ることが出来ました。この南クラブのツーリング同好会のドライブにご一緒するのはこれが3回目ですが本当に和気霽霽とした雰囲気です。これもロータリアンになっていなかったらこんな機会も無かったわけです。当クラブも同好会が誕生したのでから出来るだけ多くの方が参加し大いに活動し、クラブライフをエンジョイして頂けたら嬉しく思います。各同好会については南クラブとの合同で活動をしませんかと事ある毎に投げかけています。いずれ実現する日が来ることを期待しています。

理事会報告 仲田 廣志君

- 10月、11月のプログラムが承認されました。
- 地区大会出席義務者の確認と集合時間等が決定されました。

出席義務者の皆様には後日、ご案内をさせていただきますので宜しくお願いします。

11月16日(日)

- 来年度の産業大学の冠講座が、4月21日から開講となることになりました。第1回の講義はガバナーをお願いすることとなりました。
- 会長指名委員会の報告は、次回理事会でしていた

だくこととなりました。

大塚 博巳君

- 次回理事会は、10月22日(水)例会終了後から開催することとなりました。

- 結婚記念日のお祝いありがとう。たしか50回目と思いますが忘れまして。 櫻井 龍太君

スマイル累計額 304,000円

### 幹事報告

仲田 廣志君

- 静岡産業大学情報学部の川口学部長と田口教授がロータリー事務局へ10月6日(月)に起こし下さいました。今年度の冠講座へのお礼のご挨拶と、来年度講座のお願いをされました。青島会長、酒向奉仕プロジェクト委員長と私でお会いさせていただき、今年度の冠講座の反省と来期の講座のあり方等についてお話し合いをさせていただきました。
- 来週は、職場訪問例会です。小杉苑で食事の後、職場訪問となります。TOKAIアクア工場見学です。
- ガバナー月信10月号がガバナー事務所より届いております。
- ザ・ロータリアン誌10月号が届いております。

### 委員会報告

『ロータリーの友10月号』の紹介

クラブ広報担当 柳原寿男君

今月の表紙はイナゴとキンメモドキで、解説はタテ32ページ(P)です。

RI会長メッセージは「ビジネスとロータリー」と題して、ヨコ1Pに掲載されています。もっぱら御出身の韓国の宣伝で、原稿の半分以上を占めます。誠実、名誉、勤勉、公正といったロータリーの価値観が、韓国人には生まれながらにして備わっているそうです。

10月は職業奉仕月間。環境保全に取り組むロータリアン企業4社の紹介はヨコ6Pより9Pまで。

RI第100回国際大会は来年6月21~24日にバーミンガムで開催されます。当地の詳細な紹介記事はヨコ18p~26Pに掲載されています。ご一読して記念すべき大会へ是非どうぞ。

右開きトップ記事は「不透明な時代」と題して、(株)西京銀行頭取、渡邊孝夫氏の第2710地区IM基調講演要旨です。企業の不祥事が後を絶たない今の社会にふさわしい内容で、大変勉強になりました。本年3月9日に講演されたものですが、世界的金融危機(というより金融恐慌)の中、(日本の株式市場の暴落につながる危険性)をすでに示唆されています。昨今の株式市場の混乱を半年以上前にすでに予見されておられます。

くらぶ探訪は我が第2620地区の三島西ロータリークラブです。どこかでお会いしたような顔が沢山写っています。タテ7P~11Pをお開き下さい。

### 出席報告

青島 彰君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
27 / 36 75%	27 / 36 75%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

落合君 杉山君 望月晃君 飯塚君  
板倉君 鈴木舜君 仲田晃君 水野君 望月志君

### ビジター

藪崎 宰一君(藤枝南)

### スマイルBOX

青島 彰君

- お陰様の人生、満1年たちました。感謝々々  
栗原 毅君
- 還暦を迎えました。先日、子供にお祝いをしていただきました。これからも日々の感謝の気持ちを忘れずに頑張りたいと思います。 仲田 廣志君
- 元気に70才を迎えました。感謝の日々です。  
松葉 義之君
- 私の愛情が深いので女房も元気である事と思います。 家の中でよく動かしています。

## 新会員卓話

藤枝RC新会員卓話「電気のおれこれ」

中部電力(株)

藤枝営業所長

鈴木 勝弘君



本日は、弊社の商品であります「電気」についてお話ししたいと思います。まず、はじめに、私たちの生活に欠かせないエネルギー消費の動向ですが、2005年のデータでは世界で石油換算105億t、2030年には約1.5倍に増加すると見込まれています。特に、新興国を中心とするエネルギーの増加は顕著で、中国では毎年東京電力規模の6000万kW程度の発電設備が作られています。その、元となる石油は6割強が政情不安な中東地域に集中するといった地政学的なリスクを抱えています。そして、このエネルギーの自給率は、我が国では、食料自給率の40%よりも遙かに少ない4%程度、原子力を準国産エネルギーとして加えても18%程度しかありません。そういう意味で、我が国は中長期的にみてエネルギーセキュリティの確保が重要な課題となっています。また、我が国の総エネルギー需要に占める電力需要の比率である電力化率は約40%で諸外国に比べ高い水準にあります。

この電気には交流と直流があり、電力会社では電圧が変換しやすいことや発電機やモーターを製造しやすいことから交流を採用しています。そして、電圧と周波数を安定させることで電気の品質を確保しています。電気の大きな特徴は、生産と消費が同時に行われ貯蔵が基本的に出来ないということです。また、代替性に乏しく、足りないからといっても直ぐに準備することができないという供給の弾力性も低い商品です。

この電気は、水力・火力・原子力発電所で作られ、送電線を通して皆さんの家庭や工場などに届けています。この送電線の電圧は、発電所側が一

番高く、使用場所に向かって低くなっています。道路に例えば、高速道路から国道、県道、市道のようなものです。この送電線は、今日では北海道から九州まで繋がっています。しかしながら、日本は、東は50サイクル、西は60サイクルと異なることから、中央部に周波数を変換する設備があり、東西で約100万kWの電力が融通できるようになっています。現在、弊社では、東清水FCの送電線(安倍川横断の地中線工事)工事を進めており、完成すれば東京電力と30万kWの電力が融通できます。

電気事業の使命は、「安定、安心、安価な電力を供給する」ことです。特に、雷などによる停電の影響を極力少なくするような設備形成に取り組んでおり、平成18年度の弊社のお客さま1件あたりの故障停電時間は約4分となっており、諸外国に比べ極めて少ない時間となっています。また、電気も経済活動の発展と相俟って年1%程度伸びています。中でもエアコンの伸びは顕著であることから、夏場における省エネとして、「あさがお、にがうり等の緑のカーテン運動」を展開しています。また、環境保全や経済性を考慮し、電源のベストミックスを進めており、その機軸となるのが、「発電時に二酸化炭素を排出しない原子力発電」です。原子力発電は、安倍内閣、福田内閣で示された我が国の二酸化炭素削減に向けての主力になり得るものです。

この原子力発電で使用するウランは、「化石燃料で唯一リサイクルが可能」という利点を持っています。浜岡原子力発電所では、このウラン燃料をリサイクルする「プルサーマル計画(プルトニウムを再利用)」を2010年度から開始できるよう準備を進めており、現在、フランスで燃料の製造を行っています。

しかしながら、原子力発電については、放射性物質を扱うことから、安全性や耐震性などについて心配する声もありますので、こうした声を真摯に受け止め、安全性は勿論のこと、安心感のもてる発電所運営を目指して取り組んでおります。

最後に、電力の自由化についてです。規制緩和の流れに乗って平成12年から電力の小売自由化が始まり、現在では高圧受電（6kV受電）以上のお客さま約67%が自由化対象となっています。家庭分野の自由化は、今後、検討されることになっておりますが、「電気のことなら中部電力」と言ってもらえるよう、「電力ならではのサービス」が提供できるよう今後とも取り組んでいきますので、大所高所からのご指導をお願い申し上げ、新会員卓話とさせていただきます。



（担当 / 鈴木廣）